

研究実施のお知らせ

2020年10月8日 ver.1.0

研究課題名

医学教育目的でご献体時に施行された AiCT を用いた動脈硬化症と骨粗鬆症の関連

研究の対象となる方

2011年7月から2019年12月の間に島根大学医学部の解剖学実習にご献体いただいた方。

研究の目的・意義

動脈硬化症と骨粗鬆症は、どちらも加齢とともに多くみられる病気であり、喫煙、肥満、糖尿病、高血圧症など危険因子が共通しており、両者の関連性が指摘されています。したがって、動脈硬化と骨粗鬆症をあわせて診断することが、病気の予防や治療に有用です。しかし、動脈は全身にあり、どの部位の動脈硬化が、最も骨粗鬆症と関連するのかは明らかではありません。

本研究では、ご献体いただいた際に、教育目的で撮影された CT 画像を用いるため、骨粗鬆症に関わる全身の動脈硬化を観察することができます。背骨の骨折と、頸部、心臓、腹部の動脈の石灰化の程度を計測し、その関係性を統計学的に調べます。

本研究により、動脈硬化症と骨粗鬆症の関連性を知ることができ、両者の予防、診断、治療に役立ちます。

研究の方法

ご献体いただいた際に、医学部附属病院の施設で、医学教育目的で施行された CT 画像を用います。この研究で得られたご献体の CT 情報は、匿名化して取り扱います。ご献体の識別は研究用に付与する登録番号によって行い、登録番号と氏名の対応表は収集データとは別に解剖学講座内にて保管します。

本研究に携わるすべての研究者は「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に従って本研究を実施します。

研究の期間

2020年11月20日～2025年12月31日

研究組織

この研究は島根大学医学部解剖学講座が行います。

研究責任者（研究で利用する試料・情報の管理責任者）：

島根大学医学部解剖学講座発生生物学 小川典子

参加研究機関

[研究機関]

島根大学医学部解剖学講座

[研究責任者]

小川典子

情報の利用停止

ご献体いただきました方の CT 画像情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご遺族又は代理の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2021 年 8 月までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがありますので、ご了承ください。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご献体いただきました方の CT 画像情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者（研究責任者）にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部解剖学講座発生生物学 小川典子

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2102 FAX 0853-20-2100